

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

11月号 No. 54

県議会報告

2011. 11



くさか景子の

ちよっ

よろしいですか!

と



もう原発はいらない 子どもたちを放射能から守ろう



広河隆一氏講演会

月刊フォトジャーナリズム誌「DAYS JAPAN」編集長

3.11の東日本大震災より、私たちの暮らしが大きく変化しました。絶対に安全だといわれていた原発が事故を起こし、現在も進行中で終息する気配すら見られません。また、事故により、空気、水、土壌、食物の汚染を気にしながら生活をしなければならぬ状況となりました。

次世代を担う子どもたちを守るために、今、私たちは何をすべきか? フォトジャーナリスト広河隆一氏がチェルノブイリ、福島の実態を、力強い写真とともに語ります。

私たちの未来、子どもたちの未来を一緒に考えましょう。



日時 2011年 11月 27日(日) 13:30~16:00 (13:00 受付)
会場 JA さがみ茅ヶ崎支店
参加費 300円(チケット販売中)
定員 300名
託児有 先着20人(2歳以上)事前申し込み制【申し込み先 くさか景子事務所】
*お子さん連れの方はご相談ください。

チケット
申し込み、
問い合わせ先

- ・神奈川県議会議員 くさか景子事務所
TEL&Fax 0467-58-0290 e-mail:future@grace.ocn.ne.jp
- ・市議会議員 早川仁美 神奈川ネット茅ヶ崎事務所
TEL&Fax 0467-40-5944 e-mail:knet.chigasaki@gmail.com
- ・市議会議員 小磯妙子
e-mail:taekoko@mub.biglobe.ne.jp
- ・越地清美
e-mail:wolfruns@gmail.com

主催 「茅ヶ崎の放射能の危険を考える会」実行委員会

こどもたちの未来のために



松江から発信！ジェンダーフリー社会をつくろう

日本女性会議は、1975年の国際婦人年とそれに続く国連婦人の10年を記念して、1984年名古屋で第1回目が開かれました。今年で28回目の会議に松江まで行ってきました。

今年には特に、国の第3次男女共同参画基本計画が策定され、2020年までにあらゆる分野で女性の参画を30%にするという目標を掲げています。国際的指標からみた日本女性の地位は低く、議会、企業、地域のすべての分野で女性の参画は遅れています。その理由は、女性の政治参加が進まない、経済力が低い、社会的にジェンダー意識が強く男女の役割が固定化、ジェンダー意識や女性の不十分な社会参加を是正するための法制度も不十分。さらに政府が積極的改善措置などの取り組みをほとんどしない・・・など。

フォーラムで印象に残ったのは、資生堂の岩田喜美枝副社長の報告でした。資生堂では女性管理職を22%から30%まで増やしました。それは1990年からすべての社員の働きを見なおし1000人以上産休をとらせ、すべて後継者育成のために、女性管理職を増やすために、女性特別研修、上司や人事部でどうやって女性を育てるのかの戦略を練ったということです。積極的な取り組みが必要だということです。

特別講演では、登山家の田部井淳子さんの話は大変引き込まれるものがありました。エプロンはずして夢の山と題し、女性だけのエベレスト登頂を果たし、登山へのきっかけ、女性グループの活動、夫や子どもたちとの生活の両立など、田部井さんの素晴らしい人生模様を聞き大いに元気をもらいました。



松江の日本女性会議にて



くさか景子のほっとコラム

Team Aid For Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア～ 発足！

3.11 震災後茅ヶ崎から計10回のボランティアバスが東北災害支援で実施され、約200名が災害ボランティアを経験しました。その貴重な体験をした有志が、継続した活動を求めて、上記の団体を設立しました。もちろん、私日下景子も入ってます！今後の茅ヶ崎での活動予定は、ボランティアコーディネーターの育成、専門技術集団の形成、茅ヶ崎で被災した場合のボランティアセンターの設置訓練です。活動を通じて、仲間づくりをすすめ、いざという時の実行部隊となることを目指しています。目的に賛同される方、入りませんか？